

阪和記念病院における勤務医負担軽減計画（令和元年度版）

取り組み・目標

勤務医負担軽減を進めるためには、各部署の協力体制が必要であります。

よって業務等の他職種への分担を進め目標とする。

具体的な取り組み項目	具 体 的 内 容
地域の医療機関との連携	大阪脳卒中医療連携ネットワーク加入(大阪市立総合医療センターとりまとめ)病診連携をより一層強化し、在院日数の短縮及び外来患者数の減少を図り、併せて紹介患者数の増加を図り、病院機能の適正化を目指します。連携バスを利用した連携体制を整備しています。今後は、バス適応の患者には積極的に適用し、早期転院を促進します。事務職員による救急入院患者の転院調整支援体制を整備しています。今後は、救急病床整備に伴う転院ニーズの増加に向けて、転院先との連携強化を図っていきます。
医師事務作業補助者の配置	医師事務作業補助者増員及び業務拡充(医師の指示のもと文書作成補助・データ加工等を行う・また、患者の満足度の向上に努める)
法人内保育園の設置・充実	定期的に保育園児募集する・利用拡大
業務のIT化促進・職員への迅速な周知	事務処理のIT化の促進・パソコンのネットワークにてスケジュール及び連絡事項を配信委員会の活動状況及び手術予定を確認できる
栄養部門(NSTサポート体制)	栄養(NST)チーム活動の充実・入院患者の栄養指導・診療支援業務・NST活動拡大の為講習等に参加
放射線撮影業務	グループ内の撮影画像閲覧可能(新たなシステム導入)
リハビリとの連携	リハビリ患者の病棟間送迎への応援体制
薬剤管理	服薬指導を通じて把握した患者の内服薬情報と、医薬品の副作用情報を照らし合わせ使用方法の確認が必要な場合の医師への情報提供の実施
検査業務	迅速な医療機器導入・検査業務拡充検査データ結果報告・検査項目等の検証
患者のスムーズな受入把握 空床状況の把握 短期入院推進 退院調整強化	患者急変時、各病棟より応援・助言を行う・看護部だけではなく医師・コメディカル・事務他職種との協力体制をとっている 病床管理委員会にて患者の把握システムにて管理院調整業務の充実ベッドコントロール委員会)設置(コメディカルを含む)検討する
福利厚生 の 充 実	福利厚生提供会社ベネフィット・ワンとの契約
救急外来対応 状況に応じて緊急検査・手術等応援体制	他職種と連携体制を図る
夜勤時のトラブル対応	夜勤事務員・看護師・各コメディカル・警備員連携対応
臨床工学技士による 医療機器24時間管理体制	呼吸器装着患者の定期的な機器設定管理 心臓血管手術、人工透析、及び心臓カテーテル検査等における機器 24時間：当直体制で医療機器の管理に勤める
看護業務・改善	退院調整業務の実施・事前の医師の指示の範囲内で看護師が投与できる薬剤の種類や指示の拡大 医師の包括指示に基づく看護師による薬剤の投与量の調節説明の範囲を、ある程度のバスが一定の入院に拡大説明内容について医師と調整及び説明者の育成手術を予定している患者・家族への説明
看護補助	医師のサポート(スキルアップ)体制強化・看護補助の拡充男子看護補助者採用継続
研修医確保 魅力ある病院づくり	ホームページによる募集PR活動・意見に基づく見直し検討・実施・大阪急性期医療センターとの臨床研修医受入提携